

## 「第2回 ジュニアセッション」報告

2001年春季年会(千葉大学)では、第2回「ジュニアセッション」を開催しました。盛会であった第1回(2000年春季年会、天文月報2000年7月号の小野さんの報告を参照)から1年、前回の経験を基に準備を進めてきました。今回は、天文教育普及研究会との共催となり、日本惑星協会の御後援をいただくことになりました。さらに開催地から、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉大学の御後援をいただきました。皆様に深く感謝いたします。

ジュニアセッションは、中学生・高校生・高専生による観測や研究の成果について発表する機会を設け、天文学者たちと触れ合うことで今後の活動の糧になることを目標に開催しています。口頭セッションに研究者の方々が参加しやすいように、前回に引き続いて今回も、他のセッションが同時進行しない全体セッションとして時間を取っていただきました。また、ポスター発表も年会会期中の3日間通して行なえるようにしていただきました。限られた年会の時間をやりくりしてこのような形を実現してくださった年会実行委員会をはじめとする皆様に改めてお礼申し上げます。

前回の反省として、「口頭セッションの時間が18時までと遅く、生徒の帰宅に支障となった」「会場が狭く、立ち見が出た」という点がありました。そこで今回は、セッションの時間を14時～15時半とし、引き続き行なわれる天文教育フォ

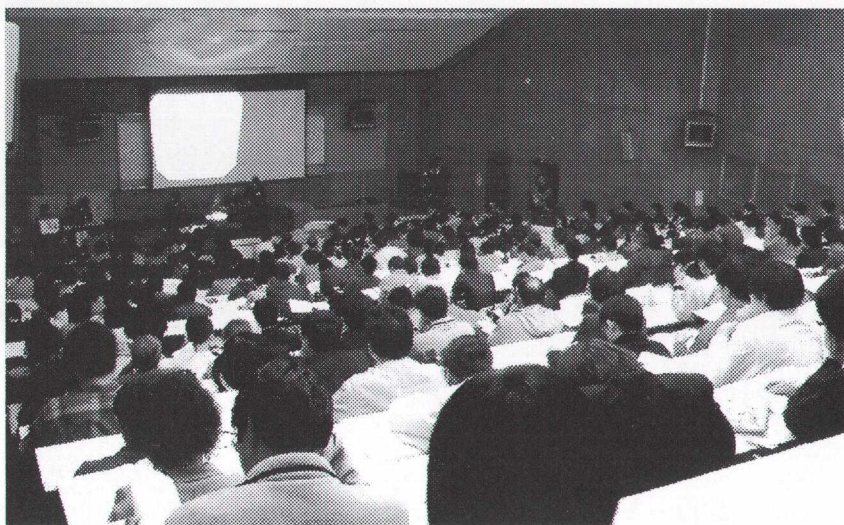


写真1 広い会場を埋め尽くす聴衆

ーラム(17時まで)に参加してもあまり遅くならないように編成していただきました。また、たいへん広い会場を用意していただき、ひと安心となりました。

さて、いくら準備ができて、発表の申し込みが少ないと話になりません。前回は初回だから多かったのではなからうか、2回続けて首都圏だと参加しにくいのでは……という世話人の不安は、申し込み開始間もなく杞憂になりました。初回の17件には及びませんでしたが、13件の発表が審査を通過し、発表していただける運びとなったのです。半数ほどは前回に発表された学校以外からの申し込みで、一部の学校だけの狭い活動にならないだろうか、という懸念も払拭されました。

さらに特筆すべきは、小学6年生からの申し込みがあったことです。申し込み案内には中学生・高校生とありますが、もちろん小学生が発表することはこのセッションの趣旨に合致するものですから、世話人全員一致で受理することにしました。予稿を送ってもらい、予稿集の印刷やアンケート

の作成など、当日に向けての準備を着々と整えていきました。

口頭セッションは、年会の初日である3月26日に行なわれました。当日は朝早くから、発表ポスターを貼ったり、講演の最終準備に余念のない中学・高校・高専生の姿が、構内のそこかしこで見られました。セッション開始前から、広い会場が続々と集まる聴衆で埋まっていき、皆さんに高い関心を持っていただけていることを改めて実感しました。最終的に、口頭セッションの参加者は250名を数え、広い会場を埋め尽くさんばかりとなりました(写真1。写真はいずれも畠中亮さんの撮影)。

口頭セッションの座長は、共催の天文教育普及研究会から、前半は大島修(岡山県立鴨方高校)さん、後半は松本直紀(慶應高校)さんに務めていただきました。口頭発表は10件でしたので、1件あたりの持ち時間は8分(講演6分、質疑応答2分)と短く、研究内容をまとめて紹介すること、また質問に的確に答えることはたいへん難しかったことでしょう。セッションの最後には、副理事長の松田卓也(神戸大学)さんから御講評をいただきました。

また、ポスターセッションでは、講演者と研究者の交流や議論が連日活発に行なわれていました。口頭・ポスターの講演に対して記入いただいたコメントとともに、きっと講演者たちの今後の糧になることと思います。

今回の反省点としては、まず口頭セッションの時間が延びてしまい、以降のセッションに御迷惑をかけてしまったことがあります。発表の時間をできるだけ確保するとともに、セッション運営を改善していかなければなりません。また、ポスター会場が分かれていて、関連の深い天文教育のポスター



写真2 「ぐんま天文台で観測した太陽と星の動き」

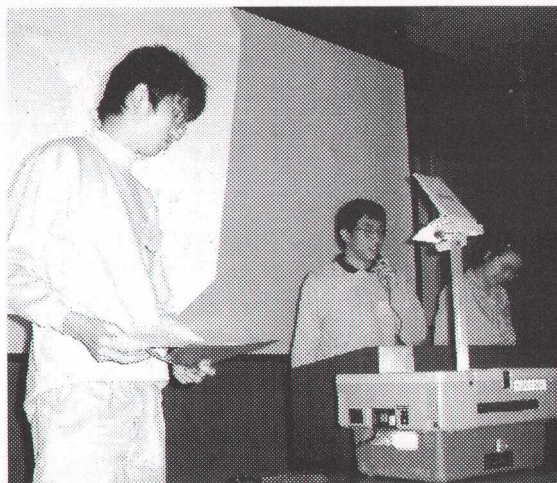


写真3 「さそり座の星の変光の秘密を探る」

と別の会場になってしまいました。今後、開催地の方々などとの連絡を密にして、なるべく同一会場で掲示されるよう調整することとしました。

このように御好評をいただいているジュニアセッション、今回は関東を離れ、今年秋季年会(姫路市)での開催となりました。講演申し込みのメ切は7月13日(金)です。申し込み方法の詳細は、天文月報本号の265ページを御参照ください。小さな天文学者たちの活躍を期待しています。

山岡 均

(ジュニアセッション世話人会/九州大学)